

議会 だより

NO. **47**

発行 三好市議会
編集 議会広報編集委員会
三好市池田町シマチ1500番地2
TEL 0883-72-7630
FAX 0883-72-3494

おもな内容

- 高校生議会 ————— 2～3
- 12月定例会議 ————— 4～5
- 一般質問 ————— 6～9
- 常任委員会 ————— 10
- 議会のごき ————— 11
- 編集後記 ————— 12



今月号の表紙：高校生議会（三好市議会議場）

◎高校生議会が開催されました

12月22日、今年で3回目となる「高校生議会」が、開催されました。

当日は、池田高校、同辻校、同三好校の生徒18名が高校生議員として参加され、山子議長から議員の任命を受けた後、議長に選ばれた5名が順番に議事の進行を行い、7名の議員が市政や身近な問題についての質問を行いました。

高校生たちに市政への理解と関心を深めてもらうとともに、市政に対する要望や質問を発表する機会を提供し、高校生の視点からの意見を、今後の市政運営に反映させていきます。

〔出席者〕

池田高校

前田 明日香	平野 いち花
土井 歩	山崎 愛悟
宮川 葵	坂井 美月
北原 雅隆	多田 遼平
爲實 拓也	宮田 翼
蔭原 愛梨	馬宮 胡春

池田高校辻校

三好 華鈴	近藤 香菜
酒井 春花	田中 友梨

池田高校三好校

平尾 亜美	中山 こなつ
-------	--------

高校生議会において議長に選任されたみなさん



④平尾 亜美 議長
(池田高校三好校)



③近藤 香菜 議長
(池田高校辻校)



②前田 明日香 議長
(池田高校)



①酒井 春花 議長
(池田高校辻校)



⑤平野 いち花 議長
(池田高校)

一般質問

一人15分の持ち時間で、一般質問が行われました。質問・答弁の要旨を掲載。

① 坂井 美月 議員 (池田高校)



質問 地方活性に向けたイベントの企画について

答弁 地域の特色を生かしたイベントが開催され賑わいや経済効果が図られている。継続性のある取り組みとなるよう支援を行う。

② 宮川 葵 議員 (池田高校)



質問
選挙について

投票率の低い若年層に対し、政治への関心を高めていくために、関係機関と連携して投票率向上に向けた啓発活動を進めていく。

③ 中山こなつ 議員 (池田高校三好校)



質問

特産品(お茶「天空ノ山茶」)について

答弁

経済産業省において「ふるさと名物」認定された特産品である「天空ノ山茶」を地域活性化に活用するため販売拡大を図っていく。

④ 北原 雅隆 議員 (池田高校)



質問
妖怪文化を柱とした地方創生について

本市の魅力的な観光資源の一つであり、周遊ルートでの重要な要素と位置づけられており地域文化を柱とした地方創生の一つとして持続させていく。

⑤ 三好 華鈴 議員 (池田高校辻校)



質問

将来の介護職員に期待することは

答弁

住み慣れた家を離れて不安を抱えながら生活している方に対し、親身に寄り添い、心のケアもできる介護職員になってほしい。

⑥ 土井 歩 議員 (池田高校)



質問
水上スポーツ(ラフティング)を柱とした地方創生について

ウォータースポーツを官民協力して世界に情報発信し、「三好市まるごと観光」を目標に進めていく。

⑦ 田中 友梨 議員 (池田高校辻校)



質問

サテライトオフィスの誘致及び求人について

答弁

企業への誘致セミナーや現地研修を通じ、市の環境を体験できる機会づくりを行い、進出企業の地元雇用拡大に取り組んでいく。

補正予算など20議案を可決

一般会計予算の総額は、25.1億748万円に

12月定例会議を12月1日から20日まで
の20日間の日程で開催しました。

今定例会議では、条例の制定2件、条例の一部改正5件、条例の廃止1件、補正予算7件、その他5件の計20件の市長提出議案と、議員提出議案1件が提出され、審議の結果、「三好市議会議員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について」は否決、その他はいずれも原案のとおり可決・承認されました。

また、陳情2件の内、「酒まつり開催に関する要望書」は採択、「三好市議会の議員定数削減を求める陳情書」については起立採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

なお、市政に対する一般質問が、議員8名からありました。

【主な議案の内容】

○財産の無償譲渡について（三好市特別養護老人ホーム長生園）

三好市特別養護老人ホーム長生園を「社会福祉法人池田博愛会」に無償譲渡するもの

○三好市地域交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について

現在、改修を行っている「旧眞鍋家」を、地域交流拠点施設として設置するための条例を制定するもの

○指定管理者の指定について（三好林業総合センター）

平成30年4月1日より平成35年3月31日までの5年間、「三好西部森林組合」に管理運営を行わせるため指定をするもの

○指定管理者の指定について（三好市森林総合利用施設祖谷溪キャンプ村）

平成30年4月1日より平成31年3月31日までの1年間、「三好西部森林組合」に管理運営を行わせるため指定をするもの

○指定管理者の指定について（祖谷秘境の湯保養センター及び祖谷溪温泉秘境の湯）

平成30年4月1日より平成35年3月31日までの5年間、「（株）ウエルネスサプライ」に管理運営を行わせるため指定をするもの

○指定管理者の指定について（奥祖谷観光周遊モノレール及び三好市東祖谷いやしの温泉郷）

平成30年4月1日より平成35年3月31日までの5年間、「（株）明和クリーン」に管理運営を行わせるため指定をするもの

12月定例会議日程

12月1日	議案説明
8日	一般質問
11日	一般質問、議案質疑
13日	文教厚生常任委員会
14日	産業建設常任委員会
16日	総務企画常任委員会
20日	委員長報告 質疑、討論、採決

【補正予算の主な事業】

※1万円未満は切り捨て

- 平成30年度4月執行市議会議員選挙経費 930万円
- 井川老人福祉センター解体工事設計委託業務 207万円
- 武家屋敷旧喜多家屋根修繕工事 2970万円
- かずら橋周辺景観保全事業 2520万円
- 災害時備蓄品整備事業 827万円
- 平成30年度小学校道徳指導用教科書等購入 246万円
- 公共土木施設災害復旧費（市道10箇所） 1億9000万円

【採択された陳情】

○酒まつり開催に関する要望書（要旨）

「四国酒まつり」は、市街地の賑わい創出や地域経済の活性化に寄与しており、年々集客数が増加している。このため不足している会場周辺の交通整理、簡易トイレ、運営スタッフなどについて市からの支援を求める。

提出者 阿波池田商工会議所

【否決となった議案】

○三好市議会議員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

（改正の要旨）

国において特別職の国家公務員の給与の額を改定したことを考慮し、本市の議会議員の期末手当を国と同水準に引き上げるもの。

【不採択となった陳情】

○三好市議会議員の議員定数削減を求める陳情書

理由（要旨）

三好市議会の議員定数を現行の22名から18名とする。

議案の審議結果（起立採決をとった議案、陳情）

※○賛成、●反対、退-退席、欠-欠席 22番山子議長は採決に加わっておりません。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員名	竹内 義了	近藤 良仁	西内 浩真	古井 孝司	(欠員)	吉田 和男	多田 敬	中 耕司	柿岡 敏弘	並岡 和久	天羽 強	千葉 清春	美浪 盛晴	平田 政廣	木下 善之	大浦 忠司	平岡 進治	立川 一広	三木 和弘	西谷 清	伊丹 征治	山子 凱雄
議案第79号 三好市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	●	●	-	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	●	●	-
陳情第3号 三好市議会議員の議員定数削減を求める陳情書	○	○	●	●	-	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	○	●	●	○	●	●	-



西内浩真
(清風政友会)

Q 手話言語条例に伴う事業展開を求める

A 他町村とも連携し、課題に取り組み

Q 平成28年3月18日に三好市手話言語条例が四国で初めて成立した。記念撮影時には市長や議員、そしてこの条例を待ちわびていた市民もこの議場に集まった。集まった人たちは、この条例ができたから手話が言語とみなされ、どのように三好市が変わっていくか、希望と期待をしていた。市長はどのような考えか問う。

A 手話に対する理解を深め、地域における障害者の自立と社会参加を促進し、生き生き安心して生活を送ることが出来る環境を整え、市民が共に生きる地域社会を実現するため制定した。今後とも障害者に優しいまちづくりを進める。

Q 今のままでは制定しただけで、聾者の生活は何も変わっていない。やり方によってはまだまだ変わる余地は幾らでもある。手を差し伸べるのではなく、手と手を取



(三好市手話言語条例の制定)

りあってもらいたい。それを踏まえ手話言語条例に伴う事業展開を求めるが、見解を問う。

A 県内24市町村のうち12市町に手話通訳者を配置している。今後他の自治体とも連携し、いろんな課題に取り組んでいく。また、手話奉仕員の養成講座等の事業も推進していく。



竹内義了
(みどりの会)

Q 市内小中学校のトイレの洋式化を進めよ

A 学校トイレの環境改善へ計画を進める

Q 三好市の公立小中学校のトイレの状況は。

A 三好市の小中学校の洋式トイレは40.2%。新築等、改修を行った学校では64%。池田小学校では19%等、改修が遅れている学校では極めて低い状況。

Q 学校トイレの今後の改修、洋式化の方向性は。

A 洋式トイレの設置率を高めていく必要がある。今後計画化していきたい。

Q 池田総合体育館、保健センターは避難施設の拠点。トイレ環境の実情と今後の整備は。

A 池田総合体育館の洋式トイレは23.3%、保健センターは43.8%。池田総合体育館は来年度に施設の全面改修を予定しており、その中でトイレの洋式化等環境整備を図る。

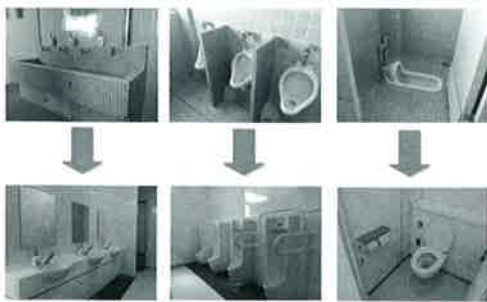
Q 「ウエイクボード世界選手権2018」の成功に向け「ラフティ

ング世界選手権2017」の検証を。

A 「ウォータースポーツのまち・三好市」のまちづくりへ丁寧な検証を進める。

Q 池田ダム湖周辺整備の形は。また、国道32号線周辺などの整備が必要では。

A 水際公園の一部を駐車場整備している。今後、河川管理者や国土交通省等関係団体と協議を進め必要な周辺整備を進めたい。



(学校トイレ改修事例)



立川一広
(清風政友会)

Q ドローンの導入計画は

A 現在導入の計画はない

Q 今日、ドローンは多種多様な業務に幅広く活用されており、特に災害時には有効な情報収集手段として期待されている。三好市は広大な面積を有しており、大雪や土砂崩れなどの自然災害時においては、ドローンを飛ばし空撮することで被災者の安否や現場の状況確認がより可能になると考えますが、ドローンを導入し活用する考えは。

A 現在、ドローンの導入計画はないが、徳島森林管理署との間で管理署のドローンを活用した「林野災害時等の活動支援に関する協定」を締結している。

Q 新しい清掃センターの建設に向けて、みよし広域連合は協議会を設置し協議を重ねているようですが、現在の程度の進捗しているのか。

A 「一般廃棄物処理施設用地選定委員会」が6回開催されており、

施設用地の選定を慎重に進めている。



(ドローン)

【ドローン】

無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称。商業用ドローンは容易に立ち入れない場所を空撮する用途などで普及が進んでいる。



美浪盛晴
(日本共産党)

Q 高齢者施設の行政改革は受け皿の育成を

A 民営化計画から遅れているのは事実だ

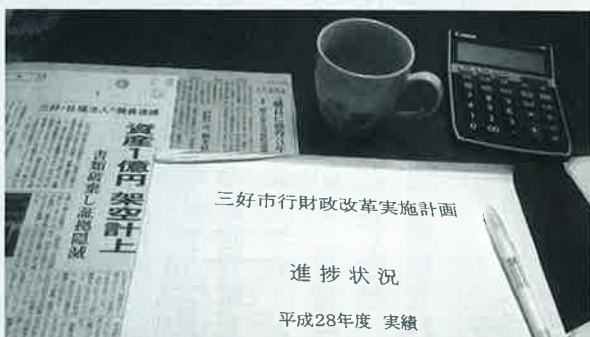
Q さる9月議会で市長の給与カットは正の条例改正案は議長裁決で否決されたが、私は2期目も現状維持で給与カットを余儀なくさせるのは望ましくないと考える。早い時期にもとに戻す改正案を出すべきでないか。

A 市長給与については議決機関の決定を真摯に受止めている。

Q 若宮荘の平成28年度の一般財源投入額はいくらか。民営化が進んでいないがこれについて社協と協議したか。臨時職員による放火があった敬寿荘の民営化に向けた受け皿作りはどのようなのか。社会福祉法人山城会の不正行為による徴収不能特別損失は8550万円もある。法人においてこの不正はどうして発覚したのか。法人で今、どのような改革が行われているか。社会福祉法人が健全化して受け皿として成長するよう指導すべきだが、司令塔として一生懸命

やれるのか。

A 若宮荘の一般財源投入額は1566万円、敬寿荘の事件により民営化を先延ばしした。社協とは協議していない。敬寿荘は非違行為の再発防止策をとり管理し、民営化は今後検討していく。山城会は法人の体質に問題があった。市としては監査等の中でしっかり対応したい。





吉田和男
(新生会)

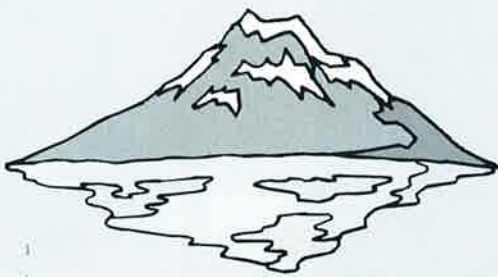
安心・安全のまちづくりについて

課題解決に向けて、地域力の維持強化を図る

Q 過疎化や少子・高齢化による人口減少と超高齢化社会の到来は一定の生活水準や地域社会の基礎的条件の維持が困難になる。中山間地域での病院への受診、通院や買い物等、日常生活を維持するのが極めて困難な人が増えている厳しい状況下、地方創生には、それに伴う環境整備の充実強化が必要不可欠である。子どもから高齢者まで、市内のどこに住んでいても、快適にいつまでも暮らし続けることができる社会を実現するため、現状をいかに認識されて、今後取り組んでいくのか。

A 人口減少や少子・高齢化の問題は、地域産業の衰退や生活基盤の弱体化、集落消滅の危機など、様々な課題に直面している。本市も予想を上回る勢いで進行し、公助の役割も増加している。こうした現状を踏まえ、今後、活力ある地域活動や地域の課題など状況把

握に努めたい。また、独自の辺地区等タクシー利用者助成事業による高齢者の移動手段の確保、移動販売や定期的な宅配の買い物支援等、生活に密着した課題の解決に向けて取り組んでいる。公共交通についても、地域をつなぐシステムづくりを進め、住みよいまちづくり実現に向け、関係機関と連携し積極的に取り組む。



古井孝司
(公明党)

大歩危駅前駐車場の拡張は

駐停車スペースの拡張を含め関係機関と協議

Q 大歩危駅前駐車場の拡張について、関係機関や地元との協議の経過は。

A JR四国や県道の管理者である徳島県、交通事業者、地元地権者の方々とさまざまな角度から協議を行っている。現状スペースにおいて歩行者、通行車両の安全対策と必要な整備、駐停車スペースの拡張を含め引き続き関係機関と協議する。

Q 駅前の駐停車スペース4区画はJR四国の所有地か。また、市営バス駐車場の使用料金は。

A 県道の大步危停車場線としてロータリー整備された。土地の状況については地積調査ができてなく、当時の申し合わせの部分も含めJR四国や徳島県に確認している。なお、市営バスの駐車料金は支払っていない。

Q 駅前の花壇、観光案内所、歩道、駐輪場について総合的に検討し、

道路の改良により車両混雑を解消し、大歩危駅が観光地のイメージダウンにならないことを望む。市営バス待機場所として西祖谷消防団第3分団詰所の改築等を検討しては。

A 消防団第3分団詰所は老朽化しているが、県道のカーブ部分に建築され非常に危険な場所である。待機場所については下車や乗車も含めて総合的に検討する。



(JR大歩危駅前周辺)



天羽 強
(みどりの会)

Q 介護保険の保険者を市に移行しては

A 制度改正によっては視野に入れる課題だ

Q 要支援者のホームヘルプ及びデイサービスが本年4月から市町村事業に完全移行し8カ月余りが過ぎた。課題は。

A サービスAの実施事業所の確保や、住民主体による支援サービスの推進が課題となっている。

Q これまでみよし広域連合が保険者となり、介護保険業務全般を運営してきた。旧三好郡は8力町村で構成され、当初は介護保険事業を広域で行う意義はあったが、合併したことによりその意義は薄れている。病床削減の受け皿として、医療から介護（入院から在宅）へ、介護からボランティアへと変わっていく。さらに、「共生型サービス」が創設をされ、障害者等を含めた全世代に対応した地域包括ケアに転換していくことになる。住民に身近な市が保険者となれば各分野との連携がより進展すると考えるが。



(一般介護予防事業いさいき 100歳対策)

A 今後の制度改正によっては、保険者を市に移行することも視野に入れておく課題だ。介護サービスのあり方や包括ケアシステムの構築に向けて取り組む中で、介護保険者の位置づけがどうあるべきか、広域連合及び関係機関と議論も必要と考えている。



木下善之
(新和会)

Q 新庁舎建設位置を変更する考えは

A 再度検討することは考えていない

Q 本市の財政状況は非常に厳しく、交付税の合併優遇措置が終了すれば、将来的には歳入不足に陥る可能性があるのに、なぜ52億円もの予算を拠出し庁舎を建設するのか。狭小な敷地へ無理をして建設を行うことを見直し、新庁舎建設位置を変更する考えはないか。

建設単価が高いと思うが、船井跡地へ建設すれば非常に安価でできるのではないかと。入札不調による工期の延伸から合併特例債等の財源確保が危惧されるが、庁舎位置の再考は。

A 庁舎位置については、これまでも特別委員会、一般質問、全員協議会などで説明しているとお

A 庁舎位置についてはいろんな議論があったと認識しているが、今から再度検討し直すことは考えていない。

り、総合的に勘案し決定したものである。新庁舎整備基本計画を本年2月に方針変更したのは、建設コストの低廉化とともに20年後の市人口、職員数の漸減を見越し、将来的にもコンパクト化が図られ、ランニングコストの節減につながる庁舎整備を目指した結果であり、この見直しこそが行財政改革の一環であると考えている。

Q 他の自治体の庁舎建設に比べ



(三好市役所本庁舎)

文教厚生常任委員会

委員長 千葉 清春

市長提出議案5件を審査し、全て原案のとおり可決となった。

議案第67号
「財産の無償譲渡について」

【問】

特別養護老人ホーム長生園の無償譲渡であるが、市財産規則第40条に基づく財産処分にはならないのか。またその価格は。

【答】

議案第68号の廃止条例に基づき、当物件が行政財産から普通財産に切り替わり、本議案で無償譲渡となる。耐用年数24年で、11年ほど経過し、取得価格の24分の13程度の残存価格約3億2千万円を無償で譲渡するというものである。

議案第72号
「三好市行政組織条例の一部を改正する等の条例について」

【問】

市長部局から教育委員会部局に移管する、「文化に関すること」の事業内容は。

【答】

主に文化、各種団体等の補助金、

三好市民文化祭実行委員会関連事業、その他文化振興関係事業に関することである。

議案第77号
「平成29年度三好市一般会計補正予算(第5号)」

【問】

井川老人福祉センター解体工事の設計業務費で、解体した跡地を所有者に返還するのか、他の利活用は考えていないか。また、入所している社協の事務所はどうなるのか。

【答】

賃貸契約どおり期間終了後に更地にして返還する。その後の活用は考えていない。社協の事務所は井川支所に移転で検討している。

産業建設常任委員会

委員長 多田 敬

市長提出議案7件、陳情1件を審査し、市長提出議案は全て原案のとおり可決、陳情も採択となった。

議案第75号
「指定管理者の指定について(祖谷秘境の湯保養センター及び祖谷温泉秘境の湯)」

【問】

指定管理者の選定について、応募のあった業者数は。

【答】

非公募で行い、現在の指定管理者の提案について選考を行った。

【問】

非公募とした理由は何か。

【答】

5年間の事業計画、宿泊者の状況、モニタリング調査等で適正に運営していると判断し、今回は非公募とした。

議案第77号
「平成29年度三好市一般会計補正予算(第5号)」

【問】

武家屋敷旧喜多家の茅葺き屋根修繕工事は、部分的な改修であるが、全面改修の検討は行ったか。

【答】

全面改修も含め検討は行ったが、国費や起債を活用して修繕した部分も傷んでいる状況があり、それを含めた改修が必要である。社会資本整備交付金の街なみ環境整備事業を活用するには、差し替き、差し替えの方法が適当であった。

陳情第2号
「酒まつり開催に関する要望書」

【意見】

酒まつりの参加者は、初回開催時から比較すると約10倍以上増加

しており、三好市を代表するイベントである。これまでの実績を考慮すれば、当然支援するべきものであり、市が積極的に協力すべきである。

総務企画常任委員会

委員長 柿岡 敏弘

市長提出議案2件を審査し、全て原案のとおり可決となった。

議案第69号
「三好市地域交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について」

【問】

管理運営はどのように行うのか。

【答】

現在、市と連携して、生涯まちづくり事業の推進に取り組んでいる地域再生法に基づく地域再生推進法人と協議を行いながら、指定管理者候補の選定を進めていく。

【問】

使用料の上限を定めた理由は。

【答】

指定管理者による利用料金制とし、限度額の範囲内で柔軟に施設の活用が図れるよう定めた。

議会のうごき（11月～1月）

- 11月 7日（火） 徳島県西部市議会連絡協議会議員研修会（保健センター）
- 14日（火） 全国過疎地域自立促進連盟第48回定期総会（都内）
- 15日（水） 全国市議会議長会研究フォーラム（姫路市）～16日
- 15日（水） 北海道室蘭市議会（会派）行政視察受入
- 16日（木） 直轄砂防事業に係る要望活動（都内：国土交通省外）
- 17日（金） 国道439号京柱トンネル開通促進期成同盟会要望活動（都内：国土交通省外）
- 20日（月） 議会運営委員会（12月議会日程、提出議案等について）
- 12月 1日（金） 2月定例会議 議案説明
- 8日（金） 一般質問
- 11日（月） 一般質問、議案質疑、委員会付託
- 11日（月） 議会運営委員会（追加議案等について）
- 13日（水） 文教厚生常任委員会
- 14日（木） 産業建設常任委員会
- 15日（金） 総務企画常任委員会
- 20日（水） 委員長報告、質疑、討論、採決
- 20日（水） 全員協議会（サンライズビルについて）
- 22日（金） 高校生議会（議場）
- 1月16日（火） 福岡県みやこ町議会（産業建設常任委員会）行政視察受入
- 24日（水） 福島県会津若松市議会（会派）行政視察受入



視察研修受入（北海道室蘭市議会）

今後の予定（2～3月）

- 2月 1日（木） 福岡県嘉麻市議会（議会運営委員会）視察受入
- 1,3日（火） 長野県佐久市議会（会派）行政視察受入

2月定例会議の日程（予定）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 2月26日（月） 議案説明 3月 5日（月） 一般質問 6日（火） 一般質問 7日（水） 一般質問・議案質疑
委員会付託 | <ul style="list-style-type: none"> 3月12日（月） 文教厚生常任委員会 13日（火） 産業建設常任委員会 14日（水） 総務企画常任委員会 20日（火） 委員長報告、質疑、討論
採決 |
|---|---|

※日程については変更する場合があります。



池田冬のオブジェ 2017 オープニングセレモニー

2017年12月2日池田町へそっこ公園にて「希望の光」が灯され、多くの家族やカップルでにぎわいました。

編集後記

平成28年に議会広報編集委員会の委員長に選任され早二年がたとうとしています。この間、市民の皆様は紙面を通して、わかりやすく正確に伝えていく事を心がけ、先進地研修などを通じ、他の自治体の紙面づくりも参考にしながら取り組んできましたが、議会活動を充分にお伝えすることができたかどうか、不安だらけです。

これからも議会だよりが、市民の皆様にも少しでも多く親しまれるような紙面づくりに取り組んでいきたいと考えております。議会だより楽しみにしていただいている市民の皆様のご期待にこたえられるよう努力していきますので、どうか今後ともご理解をよろしくお願いいたします。

委員長として編集に携わるのは、次号（5月号）だけとなりましたが、一緒に議会だよりの作成に関わった委員の方々、ご協力をいただいた大勢の方々に感謝申し上げます。

立川一広

三好市議会広報編集委員会

委員長	立川一広
副委員長	竹内義了
委員	天羽強
委員	美浪盛晴
委員	平田政廣